

豊かな水とともに暮らす

静かな水面に四季折々の風景を映し出す雄蛇ヶ池。その南側には、田園地帯が一面に広がっています。秋になると黄金に染まる大地をうろおしているのは、江戸時代につくられたこの湖です。ここには、かつて干ばつなどに対する農業用水確保の歴史があったのです。今も地区の人々は、農地をうるおす豊かな水に感謝の気持ちを忘れません。

大和 YAMATO

のどかで、どこか懐かしい風景のなかにも、新しい動きを見つけることができます。福俵駅前には区画整理され、すっきりとした街並みに。自然に抱かれた住宅団地もできています。また、現在はイチゴ栽培が有名で、地区内には約3万坪ものイチゴハウスがあります。水田の裏作としてレタス栽培も盛んになりました。繰り返し巡りくる実りの時が、大和の魅力を実感させてくれます。

赤人塚と山部赤人

雄蛇ヶ池に近い田んぼの脇に、榎の古木と石碑がたっています。これが万葉歌人三十六歌仙の一人、山部赤人の墓と伝えられる「赤人塚」です。この地に赤人伝説がおこったのは、文化年間(1804~1817)のことです。今の赤人塚のあるところで生まれたその子どもは、大人顔負けの歌を詠み、やがて奈良の都で出世し歌人となって帰ってきました。赤人が帰郷の道中使ってきた杖を庭先にさしたところ、その杖から芽をふき大木となったそうです。

法光寺には、文化年間の作と思われる山部赤人座像があります。松の丸彫で彩色され、座高は18センチメートル。まさに一首を歌い出そうとするかのような歌聖の姿がとらえら



農地をうるおした雄蛇ヶ池

「房総十和田湖」とも呼ばれる美しい雄蛇ヶ池は、江戸時代初期に造られた貯水池です。そのころ、九十九里沿岸一帯では干ばつが続き、村民は飢饉に苦しんでいました。そこで、代官・嶋田伊伯を中心に「ため池」の築造計画が立てられ、慶長9年(1604)に工事が始まりました。「おんじゃ谷」という深い谷に330メートルの堤防を築いて水を止め、10年がかりで完成させたのです。伊伯は「おんじゃ谷」にちなんで「雄蛇ヶ池」と名付けました。また、伊伯の夢枕にたつた蛇神に由来するとの言い伝えもあります。そして、雄蛇ヶ池は、その後も改修が加えられ、現在まで用水池として利用されています。



1 法光寺

Hokoji Temple

もとは真言宗に属し、西法寺とも呼ばれていました。寺伝によると、酒井氏の改宗令に従わなかったため、一夜にして破壊されてしまいました。その後、日泰上人に命じて延徳元年(1489)に現在の場所に創建され、上総十か寺の一つ、寺領18石の御朱印寺となりました。寺には直径2寸(6センチメートル)ほどの寺宝、水晶玉が秘蔵されています。里人はこれを「産の玉」と称し、安産のお守りとして信仰してきました。本堂は山門から150メートルほど離れたところに建ち、その遠望は見事なものです。

法光寺に安置されています。文明15年(1483)前後の作と推定され、市内最古の木像と考えられます。伝承によれば、この像は赤人塚付近の閻魔堂内にありましたが、酒井氏の改宗令の際、破壊されるのをおそれてひそかに地中に埋められたそうです。寛文年間(1661~1672)になって掘り出され、法光寺にまつられたと伝えられています。像の座高は66センチメートルで、杉材をはぎ合わせた寄木造です。閻魔王は、本来地獄の王として恐れられています。この像は表情や体勢にも恐ろしさがなく、簡素で穏やかさを感じられます。

2 閻魔王座像(市指定有形文化財)

A seated figure of Enma, the king of hell



嶋田伊伯をまつった水神社

Living with a water world

The serene surface of Lake Ojagaike reflects the beautiful changes of the seasons. Stretching out on the south side of the lake is a pastoral landscape. This lake was created during the Edo Period as a way of providing irrigation water during times of drought.

The area around the present Fukutawara Station was redeveloped as a new urban zone, with some residential areas being set amidst a natural environment. The area is also famous for its strawberries, which are grown in special houses that cover a total of 100,000 square meters. A by-product of paddy rice production is a flourishing lettuce-growing industry.